

令和8年2月10日開会

令和8年第1回東松島市議会定例会

会派代表質問通告書

東松島市議会

《 会派代表質問 目次 》

令和8年第1回定例会

順位	会派名 代表氏名	件	名	頁
第1位	自民党新清風会 代表 井出 方明	1	市政執行の所信等について伺う	1
第2位	自公・市民の会 代表 土井 光正	1	令和8年度の市政推進と「まちづくりの方向性」に沿った取組について問う	2
第3位	松桜会 代表 櫻井 政文	1	市政執行の所信について	4
第4位	熟議の会 代表 千葉 修一	1	市政執行の所信について伺う	6

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>自 民 党 新 清 風 会</p> <p>代 表</p> <p>井 出</p> <p>方 明</p>	<p>1. 市政執行の所信等について伺う</p>	<p>令和8年度は、東松島市第3次総合計画の初年度にあたり、本計画は市長が責任を持って策定したものであり、これに基づいて市政を執行して行かれるものとする。</p> <p>先日述べられた市政執行についての所信と合わせ、次の点について伺う。</p> <p>(1) 持続可能な行財政運営について</p> <p>将来世代に過度な負担を残さず、健全で持続可能な行財政運営を確立するためには、歳入の獲得と歳出の効率化が必要である。歳入増加のためのふるさと納税の増加、防衛省の各種補助金及び交付金、特に基地交付金の増加に対する取組について伺う。</p> <p>また、歳出の効率化のための国及び県財源の活用方法並びに行政サービスにおけるDX活用による業務の効率化について伺う。</p> <p>(2) 産業と活力のある住みたくなるまちについて</p> <p>本市の基幹産業である農林水産業は、近年の気候変動によって収穫が不安定な状況である。特に特産品である牡蠣や海苔の安定的収穫に対する取組について伺う。</p> <p>また、地域の資源を生かした持続可能な観光の振興について、特別名勝松島やブルーインパルスのPRを更に強化してはどうか。特にブルーインパルスは、道の駅への退役機展示、東松島夏まつりや航空祭で全国へその名を知らしめている。継続的な情報発信と、今後の活用に対する取組について伺う。</p> <p>さらに、働く場の確保及び税収増加のためには、企業誘致等が効果的である。今後の企業誘致に対する考えと企業を誘致しやすい環境づくりについて伺う。</p> <p>(3) 人口減少対策について</p> <p>令和7年の人口は、342人の自然減となっており、死亡数は526人であった。令和6年の死亡数は550人となっている。反面、出生数は、この2年連続で200人を下回る状況にある。</p> <p>そこで、近年における婚姻率の低下状況及びこれに対する対策について伺う。</p> <p>また、高齢者の死因、市が補助しているワクチン接種や健康診査の状況及び対策について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>自公・市民の会</p> <p>代表</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. 令和8年度の市政推進と「まちづくりの方向性」に沿った取組について問う</p>	<p>1 人口減少対策と第3次総合計画について 令和8年度は「第3次総合計画」の初年度であり、今後10年の方向性を決める重要な年度である。市長は「出生者の減少による自然減」を非常に厳しい状況と認識されているが、11の重点プロジェクトを推進することで、具体的にどのような「東松島プライド」を市民に定着させようと考えているのか、その決意を伺う。</p> <p>2 まちづくりの方向性について (1)産業と活力のある住みたくなるまち 産業の成長が見込まれる「半導体関連企業」の誘致について、宮城県との連携による現在の進捗と市内経済への波及効果をどう見込んでいるか伺う。また、令和7年度に設置予定の「ブルーインパルス退役機」を足がかりに、道の駅東松島を拠点とした地域活性化をどのように深化させていくのか伺う。</p> <p>(2)子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち 「誰一人取り残さない地域共生社会の実現」を掲げているが、この理念は、特に支援を必要とする障がいのある方やそのご家族にとって、大きな希望の光となっている。しかし、理念を絵に描いた餅に終わらせないためには、具体的な施策の裏付けと、着実な進捗管理が不可欠であると考え以下、本市の「第7期障がい福祉計画」に基づき、具体的な支援の充実について伺う。</p> <p>ア 地域移行の計画達成に向け、グループホームの整備をどのように支援し、地域での「住まいの確保」を具体化していくのか見解を伺う。</p> <p>イ 就労支援と経済的自立に向けて、昨今の物価高騰は、工賃水準が必ずしも高くない就労継続支援B型事業所の利用者等に深刻な影響を与えている。市として、A型・B型事業所への「優先調達(市による発注)」を更に拡大し、利用者の所得向上を直接的に下支えする考えはあるか、具体的施策を伺う。</p> <p>ウ 防災・個別避難計画の実効性について、障がい特性に応じた避難支援を行うため、自治会や防災士等との連携をどう深めていくのか。また、福祉避難所の受入体制整備について、現状の課題と今後の展開を伺う。</p>

		<p>(3) 次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち 令和4年度から「2学期制の導入」と「夏休み4日間短縮」を本格運用されているが、これにより生み出される「ゆとり」を、具体的にどのような「探究と協同の学び」に繋げていくのか伺う。また、中学校の部活動の地域展開について、受け皿となる指導者の確保や保護者の負担増に対し、市としてどのような支援策を講じるのか伺う。</p> <p>(4) 災害に強く安全で快適で美しいまち 避難道路としての「市道牛網・関下線」の改良工事や女川原子力発電所災害を想定した「大塩小野停車場線」の拡幅要望の進捗について伺う。あわせて、脱炭素先行地域として、一般家庭や市内事業者への「太陽光発電設備等への補助制度」を拡充することで、市民の生活コスト削減と環境負荷低減をどう両立させていくのか伺う。</p> <p>(5) 持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち 市長が掲げられた持続可能な行財政運営は、人口減少と少子高齢化が加速する本市にとって、避けては通れない最重要課題である。震災復興という大きな節目を越え、次なる「地方創生のトップランナー」を目指す本市の決意について、以下に伺う。</p> <p>ア 公私連携の具体的ビジョンとして、公立保育施設が「セーフティネット」としての役割(障がい児保育や医療的ケア児への対応等)に特化し、私立保育施設が「多様なニーズに応える柔軟なサービス」を担うという分担案について、市長の具体的な着地点とスケジュールを伺う。</p> <p>イ ふるさと納税の戦略的展開として、令和8年度の目標額、松島基地の魅力を活かした体験型返礼品や地場産品の販路拡大をいかに「稼ぐ力」に結びつけるのか、市長の戦略を伺う。</p> <p>ウ 特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条交付金)の戦略的活用として、給食費無償化の継続や2歳児以下の保育料無償化といった「子育て支援の充実」へさらに重点配分する考えはあるのか伺う。</p> <p>エ DXの推進による利便性向上と行政のスリム化として、マイナンバーカードの活用範囲を広げ、転出入や福祉関連など、住民が最も手間と感じる手続きのオンライン化をいつまでに、どこまで拡充する計画か伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>
--	--	---

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>松桜会</p> <p>代表</p> <p>櫻井政文</p>	<p>1. 市政執行の所信について</p>	<p>これまでの取組成果と「東松島市第3次総合計画」に掲げた5つのまちづくりの方向性について伺う。</p> <p>1 これまでの取組成果について</p> <p>(1) 人口減少対策は喫緊の課題である。 本市の人口は、令和6年末が37,875人、令和7年末が37,332人で543人減少している。その内、社会増減についてはいかがか。社会増に向けての施策について伺う。</p> <p>(2) 本市の人口維持に向けた施策の大きな取組として、企業誘致を積極的に進め、多くの雇用創出につながったとしている。 しかし、地元雇用にどれほどの成果があったのか。確たるデータが不明である。そのデータ分析を行い、地元雇用による定住策に反映させることが重要と考える。市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 観光振興について、国際認証団体から選出され、鋭意、取り組んで来たことには敬意を表するが、統計上でどのような成果があったのか。いわゆる観光客入込客数と並行する経済効果である。 これらを踏まえ、観光客がどのようなニーズを持って本市を訪れているかを把握することにより、まだまだ観光地としての認知を向上させ、多くの人々が訪れる余地があると思えるが、いかがか。</p> <p>2 令和8年度の市政推進の基本的な考え方と「まちづくりの方向性」に沿った取組について</p> <p>(1) 本市の基本理念に「地域経済の活性化と若者や子育て世代に選ばれる地域づくり」を掲げている。この程、本市と軌を一にするかのように、村井知事は新年度予算案で若者や女性向け施策を重視すると発表した。 なにか県と連携して取り組むことはあるのか伺う。</p> <p>(2) 市民が誇りを持てる魅力ある地域づくりの基本理念の一つに「誰もが安心して暮らせる市民協働の地域社会」をあげている。協働のまちづくりの拠点である各市民センターのトップに市職員を据え、まちづくりに取り組んで来たが、対象となる市民には今だなじめないこともやや有ると仄聞する。</p>

		<p>今後、かつての公民館方式の形となるのか、過渡的な方針と理解をして良いのか令和8年度に向けて、市民にわかりやすい所信を伺う。</p> <p>3 まちづくりの方向性1 「産業と活力のある住みたくなるまち」について</p> <p>(1) 米の安定策に触れているが、国の動向あるいは、市場情勢によって変化するものと認識される。市の政策としての取組案があれば、示してほしいかがか。</p> <p>(2) 特別名勝松島について、今後は、地域資源としての「活用」をめざすとしているが、具体策はなにか。 また、その一角を成す野蒜地域については、相変わらず未利用地が点在する。活用に向けての方針はいかに。</p> <p>(3) 「商工振興・企業誘致と働く場の確保」の中で、赤井柳の目中工区における大型商業施設整備の進捗状況はいかがか。 また、宮城県と連携し、半導体関連企業の誘致に取り組むとしている。県と連携の進捗状況と半導体工場に適した産業用地は、確保されているのか伺う。</p> <p>4 まちづくりの方向性2 「子育てしやすく誰もが安心して暮らせるまち」について</p> <p>(1) 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金（8条補助金）を活用した、(仮称)下浦・作田浦地区コミュニティ供用施設整備事業について、新築工事設計から始まる今後の取組について伺う。</p> <p>5 まちづくりの方向性5 「持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち」について</p> <p>(1) DXを推進し、利便性の高い行政サービスの提供とあるが、デジタル人材の確保と育成、情報システムの標準化、AIの利活用、さらにはフロントヤード（窓口業務）の改革やマイナンバーカードの利活用推進等が重要になると思料する。この点についての見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>
--	--	--

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>熟議の会</p> <p>代表</p> <p>千葉</p> <p>修一</p>	<p>1. 市政執行の所信について伺う</p>	<p>令和8年度は、「東松島市第3次総合計画」の初年度として10年間のまちづくりの方向性を具体的に動かし始める重要な1年となる。地方創生やSDGsの理念を継承するとともに「住み続けられ持続・発展する東松島市—誇れるまち選ばれるまち東松島プライド—」を将来像として掲げており「地域経済の活性化と若者や子育て世代に選ばれる地域づくり」、「地域全体で支える学びと子育て環境の充実」、「誰もが安心して暮らせる市民協働の地域社会」の3つの基本理念を柱に、市民が誇りを持てる魅力ある5つのまちづくりについて伺う。</p> <p>1 まちづくりの方向性1「産業と活力のある住みたくなるまち」</p> <p>(1)「基幹産業としての農林水産業の活性化」について 令和8年度事業採択を目指す高松地区をはじめ、西小松、深谷西、上下堤・川下及び下福田・新田の5地区の県営ほ場整備事業計画及び深谷西のほ場整備において、赤井官衙遺跡群の発掘作業についての影響を伺う。</p> <p>(2)「地域の資源を生かした持続可能な観光の振興」について 特別名勝松島について、従来の規制を中心とした「管理」から地域資源としての「活用」へと重点を移し、持続可能な観光地づくりを進めていくとあるが、具体的な計画は考えているか伺う。</p> <p>(3)「道の駅東松島」開業2年目になり、ブルーインパルス退役機を常設展示することから、ますます売上も増えると思われる。本市産業との連携及び地域の活性化の具体的な取組を伺う。</p> <p>2 まちづくりの方向性2「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」</p> <p>(1)人口減少及び子育て支援対策に力を注いでいくとあるが、新たな子育て環境の充実をどのように考えているか伺う。</p>

		<p>3 まちづくりの方向性3「次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」</p> <p>(1)「子どもたちの可能性を広げ伸ばす学力保障と成長保障」でのゆとりある教育課程の中で、「探究と共同の学び」を推進し、確かな学力の育成・向上を図るとあるが、どのように考えているのか伺う。</p> <p>4 まちづくりの方向性4「災害に強く安全で快適で美しいまち」</p> <p>(1)「東松島市地球温暖化対策総合計画」に基づく関連事業として、藻場の再生などブルーカーボンへの取組について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>5 まちづくりの方向性5「持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち」</p> <p>(1)ふるさと納税推進に当たっては、本市の魅力発信と財源確保の重要な柱として位置付け、寄附者の思いに応える取組を一層強化していくとともに、寄附手続の利便性向上や返礼品の充実、情報発信の強化を進めるとあるが、どのように考えているのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>
--	--	--